生物多様性保全に係る武蔵台緑地生態および修景管理業務委託　作業報告書（武蔵台緑地）

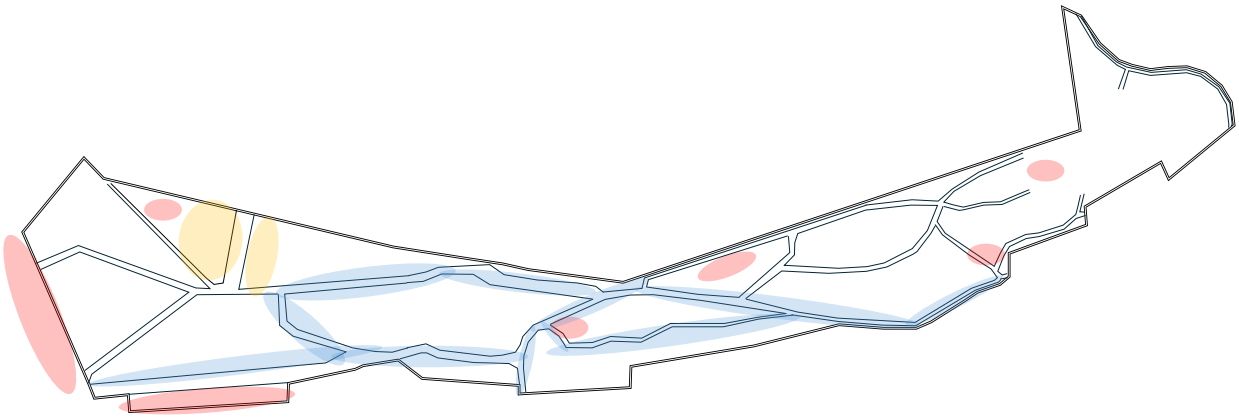
令和７年5月の景色

キンラン　ラン科 キンラン属

４月の終わり頃から５月の初旬に花を咲かせる、在来種のラン。
今年は緑地全体で130株ほどを確認しました。
武蔵台緑地がある北多摩地域では、 NT（準絶滅危惧種）に指定されています。
（「東京都レッドデータブック（本土部2023）」において）
菌と共生して暮らしているため、掘り上げて移植しても枯れてしまいます。
生育環境を守って、共生関係が持続していくようにすることが大切です。

業務の実施内容
・選択除草
・ササ刈り
・草刈
・市民ボランティア等との協働
・植物相調査
・巡回
・投棄物の回収清掃

作業箇所図



実生木・常緑樹の選択除去
外来種・栽培種ほかの選択除去
ササ刈り
草刈

ササ刈り

　アカマツ林では林床（りんしょう：林の下の地面のこと）までよく光が届くようにします。ササ類は背が高くなり林床への光を遮ってしまうため、選択的に刈り取ります。地面に見える緑色の植物はスゲやサジガンクビソウで、これらは選択的に残しました。

　また、アカマツの種から芽生えた木が10数株確認できました。

　これらは大切に育成します。

アカマツの芽生え

作業前

作業後

選択除草

　指標となる植物を被圧する草木は選択的に除去します。特につる植物は指標植物に巻き付いて葉を覆ってしまったり、地面へと引き倒してしまったりするため、丁寧に取り除きます。

＊被圧とは…　植物が成長することによって、近くにある他の植物へ与えるマイナスの影響のこと。

作業前

作業後

作業前

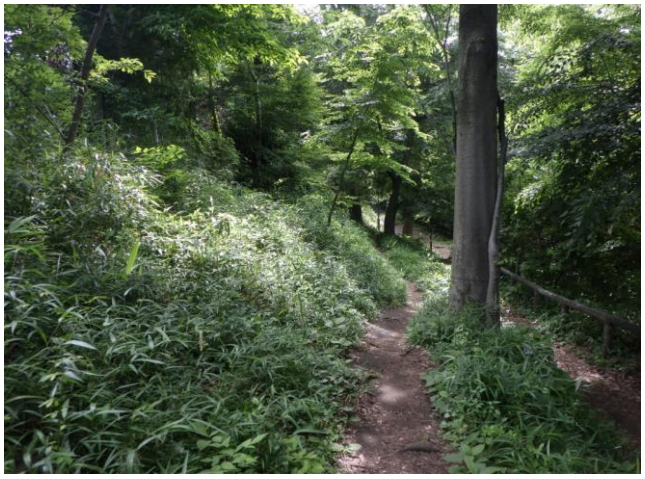
作業後

草刈

遊歩道脇の草木が成長すると通行時に顔などに当たるため、草刈を実施しました。草刈によって地面に当たる光の量が増えると、思いがけない野草が伸びてくることもあります。

作業前

作業後



作業前

作業後

堆積した土砂にササ類や実生木が進出し、管理用通路の幅が狭くなってきた場所

作業前

作業後

投棄物の回収清掃

今月は連続して砂利やコンクリートガラ、レンガなどの投棄が多数ありました。

樹木の折損被害

根元から切られて枯れたフジ

幹の途中で折られたコナラの実生木

市民協働

府中市環境調査員会議との協働　　自然環境調査（植物班）

毎月１回開催される自然環境調査（植物班）に同行し、調査をしています。
調査日以外に見つけた生育場所・状況等については随時、情報提供をしています。
今月はクチナシグサの実や、サイハイランの開花を観察しました。

クチナシグサの実　２週間後には割れて種子が見えるように

サイハイラン　開花

武蔵台緑地保全ボランティアとの協働

緑地整備活動に同行し、手入れ内容や方法についての助言や植物生育状況などについて情報提供をしています。
今月もヤマユリ保全エリアで選択除草とササ刈りをしました。

さまざまな生育段階のヤマユリ
背が低いうちは蕾をつけることができません

手入れの風景

植物相調査

こまめに調査をし、毎月１回の自然環境調査では確認していない時期や箇所の状況を記録しています。また、生物分類技能検定(植物部門)１級の登録者を招いての調査も実施しています。

ギンラン　開花

ノヤマトンボ（オオバノトンボソウ）

フデリンドウ　果実

マユミ 開花　この緑地で多く見られます

マルバウツギ

ノイバラ

緑地内で見かけた動物

緑地内で一番多く聴こえてきたのは
ガビチョウの大きな鳴き声でした

ガビチョウは中国原産の鳥で、外来生物法で
特定外来生物に指定されています